

(令和4年度第2次補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 三郷町 (都道府県: 奈良県)  
 本事業の担当部局名 住民福祉部 住民福祉課

事業メニュー	地域結婚支援重点推進事業				
区分	一般メニュー				
関連事業メニュー	1.1.6 その他、各地域において結婚を希望する者の希望の実現を支援するための取組				
個別事業名	三郷町婚活事業SVM <sup>※</sup> ※SVMは「サンゴー・ベリー・マッチング」の頭文字であり、「サンキューベリーマッチ」とかけた名称です		新規/継続 (一般財源での実施も含む)	新規	
実施期間	交付決定日 ~ 令和6年3月31日		事業開始年度	年度	
対象経費支出予定額 ※(注)1	3,460,512 円				
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	(地域における実情と課題及び本個別事業の位置付け)				
	<p>&lt;地域における実情と課題&gt;                      三郷町では、出生数が死亡数を下回る人口の自然減が顕著に進んでおり、また、婚姻組数に対する離婚件数が平均値よりもやや高い傾向にある。早急に出生数の増加に向けた取り組みが必要となっている状況であるが、こういった取り組みについてはノウハウに乏しいのが現状であり、具体的な施策を実行できていない事が大きな課題である。</p> <p>&lt;本個別事業の位置付け&gt;                      出生数の増加を目的とした具体的な施策が必要な事から、令和4年7月より、事業の実施能力が高い法人へ、本事業全般(別項「個別事業の内容」へ記載の内容全て)の業務委託を行う事で、事業を進めているところである。委託先として選定したのは、平成28年度に奈良県橿原市、そして上牧町の結婚応援事業の受託経験があり、一定の実績を残しているNPO法人とした。                      令和4年度中は、事業の中心となる結婚相談所の設立を目指しており、そこで活躍するボランティアの募集・育成を主とした事業展開となっている。令和5年度には、定期的な結婚相談や、数回の婚活イベントの実施を予定。                      事業の性質上、単年度で結果を求める事が困難である事から、令和4年度~令和8年度までの5ヵ年計画により、婚姻組数の増加、離婚件数の減少、そして出生数の増加を目指す。</p>				
	(本個別事業における現状と課題)				
	(課題への対応) 現状、特に課題は無し。事業が本格稼働する令和5年度以降、しっかりと事業を分析し、課題の洗い出しが必要であると思われる。				
個別事業の内容 ※(注)3	番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
	1	結婚相談所の稼働	令和5年4月より、NPO法人内の専門人員及び、NPO法人により実施される複数のボランティア養成講座 <sup>※</sup> を受講修了したボランティアによる結婚相談所を月に1度程度稼働させていく事を予定。 既婚者を含む幅広い相談業務に対応していく事で、来所者同士のマッチングや、離婚率の減少へと繋げていく。 ※1回1時間の講座を1日3回、4日間の実施(計12回)。内容については、内閣府より発出されている「結婚支援ボランティア等育成モデルプログラム」をベースとしたものになっている。		○
	2	婚活イベントの実施	町内での婚活イベントを1回(参加者数は20人程度)開催予定。オンライン婚活も1回(参加者数は20人程度)行う予定であり、その際にはオンライン婚活を熟知した法人スタッフ等がイベントを牽引する事で、効果的なイベントを意識する。 項目1の相談所において、相談者として来所された方、そして相談所に携わっていただくボランティアの方々にもイベント運営にご協力いただく事で、相談者に長期的に寄り添える伴走型支援を実施。 また、相談者がイベントへ参加される場合は、事前にイベント参加へ向けてのセミナーを実施。加えて、イベントの参加者については、できるだけ結婚相談所への登録を促進していく。飲食費や体験料等の参加者に還元する費用(補助対象外)については参加費を徴収し充当する。(当計画には含まない)		○
	3	本事業の周知活動	相談事業・イベント事業、いずれについても本事業の認知度によって効果が変動する事から、事業の周知活動を重視しており、継続的に実施していく。 令和5年度については、若年層への事業周知(参加者・メンター共に)を重点的に行う事を考えており、近隣の幼稚園・保育園訪問、SNSの活用を予定。		○

【次年度以降に向けた事業の方向性】 いずれの項目についても、徐々に実施範囲や方法を広げていく事を考えている。具体的には、委託法人と毎月定例的に行っている会議にて決定していく。					
【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】 同委託法人により行われた、奈良県橿原市、奈良県上牧町での婚活事業。					
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目		単位	目標値	現状値
	出生数		人	200 (R6)	158 (R2)
参考指標 ※(注)5	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率			1.36	
	婚姻件数		件	154	
	婚姻率			6.74	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	<アウトプット>				
	相談所へのマッチング登録者数		人	10	-
	ボランティアの登録者数		人	10	-
	婚活イベントの参加者数		人	40	-
	婚活イベントの参加割合		%	80	-
	<アウトカム>				
	相談所へのマッチング登録者の満足度		%	60	-
	ボランティア登録された方の満足度		%	60	-
イベント参加者の満足度		%	60	-	
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	事業計画を三郷町のホームページにて掲載。奈良県ホームページにおいてもリンク掲載のうえ、県全体の周知を図る。				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	事業の周知を目的とし、本事業についてのチラシを、町内の民間業者(医療機関・スーパー・飲食店等)へ設置依頼。				

(注)

- 1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。
- 2「自治体における少子化対策の全体像及びその中で本個別事業の位置付け」には、次の①～③を記載すること。ただし、結婚新生活支援事業において、②③は記載不要。
- ①これまでの自治体における少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情・課題と、それらを踏まえた、自治体における少子化対策の全体像及びその中で本個別事業の位置付け
- ②本個別事業が継続事業である場合はこれまでの事業実施状況及びその中で見つかった課題(新規事業である場合は不要)
- ③本個別事業が新規事業である場合は地域における実情と課題への対応、継続事業である場合は本個別事業における現状と課題への対応
- 3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。
- ※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。
- ※事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。
- 4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和5年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。
- 5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。
- 6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中で本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。
- ※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。
- ※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。
- 7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。
- 8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。

## 積算内訳書

1. 地方自治体名	奈良県三郷町		
2. 個別事業名	三郷町婚活事業SVM		
	対象経費支出予定額:	3,460,512	円

## 3. 本個別事業に要する費用及びその内訳

No	経費区分	経費区分毎の内訳	総事業費		
			交付対象事業費	交付対象外事業費	
1	委託料	結婚相談事業（ボランティア育成・サポート・継続募集等）	2,063,107	2,063,107	
2	委託料	イベント実施経費等	241,851	241,851	
3	委託料	R5年度中の事業企画立案・事業の周知活動等	1,155,554	1,155,554	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
計			3,460,512	3,460,512	0

(経費区分ごとの合計)

区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
総事業費	0	0	0	0	0	0
交付対象事業費	0	0	0	0	0	0
区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
総事業費	3,460,512	0	0	0	0	3,460,512
交付対象事業費	3,460,512	0	0	0	0	3,460,512

(参考)上記のうち、セミナー・イベント等開催時の一人当たりコスト

(単位:円、人)

番号	セミナー・イベント名称	所要額(X)※	参加予定人数(a)	KPIで設定した参加割合(b)	計算に使う人数(Y = a×b)	一人当たりコスト(X÷Y)
1	婚活イベント	241,851	40	80%	32	7,558
2	ハロバトメンター養成講座	82,000	10	100%	10	8,200
3					0	0

※自治体間連携で事業を実施する場合は、総額の所要額を入力すること。